

## 虫とり探検をしよう

### 1 活動の概要

自然豊かな施設の周辺で、グループごとに分かれて自然散策や虫とりを行う。子どもたちは自分の虫かごと網を持ち、自然の中で活動する。

### 2 活動のねらい

- 自然の中をグループで探索する活動を通して、自然への興味・関心を高める。
- 虫と触れ合う活動を通して、身近な虫に親しみをもち、生命を大切にしようとする態度を養う。

### 3 準備するもの

- 虫かご、網
- 虫に関する絵本や図鑑
- 救急セット

### 4 活動場所

虫が生息している場所（公園、雑木林、池のほとり等）

### 5 活動の展開

#### (1) 子どもの活動意欲を高める（屋内での活動）

##### ①絵本の読み聞かせ

- ・虫とりや自然散策をテーマにした紙芝居や絵本の読み聞かせをする。
- ・虫とりをした経験について話し合う。

##### ②グループタイム

- ・グループに分かれて昆虫図鑑を見ながら、虫の生息場所などを話し合う。
- ・安全についての約束を確認する。



【本の読み聞かせ】



【昆虫図鑑で調べる】

#### (2) 虫とり探検（屋外での活動）

##### ①自然散策

- ・施設内の遊歩道に沿って、公園や雑木林、池のほとりを散策する。
- ・ボランティアの方に草笛など自然のものを使った遊びを覚えてもらう。
- ・休憩や水分補給の時間を十分取るようにする。

## ②虫とり

- ・自然散策の途中、公園や広場で虫とりをする。
- ・虫とりをする場所では、行動範囲など安全について再度確認する。



【遊歩道の散策】



【友達と一緒に虫とり】

## 6 子どもの活動と留意点

### ○効果的な活動にするために

- ・事前に本や図鑑を見ながら話し合うことで、虫に対する興味・関心を高めておく。
- ・十分に活動することができるように、虫とり網や虫かごは各自一つずつ持たせる。
- ・散策の途中で、ボランティアの方に自然のものを使った遊びなどを教えてもらうことで、自然とのふれあいを楽しませる。

### ○場所の設定

- ・幼児が自由に虫とりなど野外活動ができるような安全な場所を設定する。
- ・虫とりはいろいろな場所で行うようにする。芝生や草原ではバッタ、チョウ、雑木林ではセミ、水辺ではトンボ、アメンボウなどが期待できる。
- ・途中休憩できる木陰がある。

### ○天候

- ・雨天時のプログラムを考えておく必要がある。
- ・晴天時は活動の時間帯を考慮する。夏季は日差しが強い時間帯に長時間活動することは避けるようにする。



【広場での活動】



【しっかりと水分補給】

## 7 活動の発展・応用

○施設で…生き物分布マップづくり、自然物を使ったクラフト 等

○園 で…園周辺での虫とり（違いをさがそう）、自然の物を使った遊びをつくろう等